

## 感染性胃腸炎にご注意!!

感染性胃腸炎は1つの病気をあらわすものではなく、多種多様な病原体（細菌、ウイルス、原虫など）による病気のことです。いわゆる「おなかにくるかぜ」もこの病気に含まれます。冬季に集中して発生が見られるものの多くはノロウイルスやロタウイルス等が原因と考えられます。



その感染性胃腸炎の患者報告数が県内で増加しているようです。過去5年間の同時期と比較して、患者報告数が多くなっているそうです。

病原体によって異なりますが、主に口から感染し、吐き気、おう吐、下痢、腹痛、発熱などの症状が見られます。感染しても多くの人は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化することがあります。非常に感染力が強いため、家庭や施設などで患者が発生すると、二次感染を起こし、集団感染（発生）を引き起こすことがあります。

### 感染予防のポイント

#### ①手洗いの励行

- ・外から帰った後、トイレの後、調理の前、食事の前には必ず石けんで手をよく洗う。



#### ②おう吐物等の処理

- ・できるだけ素手で触らないように気をつけながら、使い捨てできる布やティッシュペーパーできれいにふき取る。ふき取ったものはビニール袋などに入れ、外にもれないようにして捨てる。
- ・吐いたところは、約50～100倍に薄めた次亜塩素酸ナトリウム（商品名：ハイター、ブリーチなど）で消毒する。
- ・処理後は石けんで丁寧に手を洗い、うがいをする。

#### ③食品の十分な加熱

- ・食品を加熱する際は、食品の中心部まで十分に加熱調理する。

今学校ではインフルエンザでの欠席はほとんどありませんが、今週になって、おう吐や下痢、腹痛などの症状での欠席者が少し増えてきました。体調が悪いときには無理をして登校せず、早めに休養しましょう。登校前の健康観察も引き続き、よろしくお願いします。

例年、かぜやインフルエンザが流行するのはこれからです。**うがい**・**手洗い**は感染症予防の基本です。ご家庭でもご指導よろしくお願いします。